

2021年度（保存版）

保育園のしおり



社会福祉法人 耕心会

西山田保育園

〒565-0824 大阪府吹田市山田西2丁目14-1
TEL: 06-6877-3536 FAX: 06-6170-6075

◆園の概要

名称	西山田保育園
類型	認可保育所
運営主体	社会福祉法人 耕心会
代表者	理事長 三浦 義行
所在地	〒565-0824 大阪府吹田市山田西 2 丁目 14-1
電話番号 FAX 番号	06-6877-3536 06-6170-6075
園長	馬込 武志
認可年月日	2020 年 4 月 1 日（公立民間移管）
定員	120 名
職員構成	園長、主任、主事、保育士、調理師、栄養士、看護師 等
内科嘱託医	市森クリニック
歯科嘱託医	わたせデンタルクリニック
施設構造	RC 造 2 階建
延べ床面積	993.14 m ²
開園時間	7:00～19:00（延長保育時間含む） ※保育時間(利用時間)はご家庭毎に、個別面談の上で決まります。
休園日	日曜日、祝日・休日、年末年始(12/29～1/3)

【保育理念】

西山田保育園は、こどもの権利条約、児童憲章の理念に基づき児童が心身ともに健やかに育ち、保護者が安心して預けて働く事ができ、また地域の子育て支援がしっかりできる施設を目指します。

【保育方針】

心優しく素直でねばりある子どもを育てます

【保育目標】

「こころもからだもけんこうなこども」

- * いよくのあるこども
- * なかまをたいせつにするこども
- * よくあそぶこども



2020年に吹田市市立保育園から民間移管園となりました。公立園で大切にされてきたことと耕耘会で大事にしてきたことを合わせ、上記の目標を掲げ年齢ごとの成長や発達に合わせたねらいを持ち保育を行っています。

子どもの姿から保育を創造していくため、毎月園内の取り組みについて、様々な会議を重ねています。いろいろな取り組みがありますが、家庭との連携を大切にしながら、季節ごとの行事を丁寧に積み重ねて過ごしていきたいと思っています。

乳幼児期は、人格形成の土台となる大事な時期です。毎日の生活や、いろいろな取り組み・実経験の中で「自分ってすごい！」を感じながら、自分が大好き、ともだちも大好きな心豊かな園児に育てて欲しいと願っています。いろいろな人（子ども、先生、大人）とかかわることで、違いや変化を受け入れ「自分自身と周りの人を大切にしながら生活できる力」を身につけてほしいと思います。

健康の基本である早寝・早起きを大切に、戸外で思いっきりあそんだり、散歩に出かけ自然の中でたっぷりあそぶことを大切にしています。

園児の育ちは今も昔も変わりません。早く早くではなく、じっくり、たっぷり、豊かに成長して欲しいと思っています。

あかちゃんの頃から泣いて快・不快などの気持ちを伝えようとしてきます。しっかり大人に気持ちをぶつけてきます。しっかり受け止めていき、気持ちの安定を大切にしています。自分が大好き！自分ってすごい！と自己肯定感が持てる子は、ともだちに目が向いてきます。泣いたり、笑ったり、ともだちといっぱいあそび、時にはケンカをしながらも、力を合わせていく心地よさ、楽しさを知って、集団の中で育ち合っていくことを大切にしています

クラスと定員について

- 5歳児クラス らいおん組（27名）
- 4歳児クラス くま組（23名）
- 3歳児クラス さる組（24名）
- 2歳児クラス ペんぎん組（24名） グループ編成を行います
- 1歳児クラス うさぎ組（17名） グループ編成を行います
- 0歳児クラス ひよこ組（6名）

保育園で大切にしていること



<さんぽ>

1年を通して散歩に出かけます。散歩は、足腰を鍛えるだけでなく、自然と触れ合う大切な機会です。虫、草花などを見つけたり、犬や猫に出会ったりします。いろいろな所で発見し、立ち止まり、共感を広げていく探索中心の散歩や、目的を持ったの散歩、いろいろなところを歩く散歩など、園児の年齢にあわせて様々な散歩にでかけます。ともだちと一緒に行くことで待ってあげたり、共感しあったり、交通ルールを守るという社会性も育っていきます。

<リズムあそび>

ピアノの曲に合わせてからだを動かします。走ったり、跳んだり様々な動きで心身のしなやかさやリズム感を育てていきます。大きい子の姿を見て憧れの気持ちを育てる場にもなっています。ともだちと一緒に「楽しいな」「気持ちいいな」と感じる時間にもなっています。

<どろんこあそび>

手や足だけでなく全身で楽しむどろんこは、『保育園ならではの』あそびのひとつです。身近な遊びですが、変化する素材でもあり、創造力や感覚を養います。一人でもあそべますし、たくさんのもだちともあそべ、年齢を問わずその子にあったあそび方ができます。季節にとっても敏感で、少しでも暖かくなるとどろんこを楽しみます。大きい年齢の園児は、ツルピカだんごを作って宝物にしています。手先の器用さだけでなく探究心をくすぐり、そして失敗をくりかえしながら何度も挑戦し根気や持続力も育てていきます。



<ごっこあそび>

ままごとの経験は誰でもあると思います。ごっこあそびは、経験を土台に想像力をふくらませます。〇〇になったつもりで「うそこの世界」を楽しみます。一人ひとりのごっこあそびから、ともだちと役割を分担して楽しむあそびへ変化していき、みんなで一つのごっこあそび、「劇あそび」を楽しむようになってきます。生活の経験やお話の世界で、ともだちと一緒にいろいろなごっこあそびを経験することを大事にしています。劇などの取り組みで、自分以外のものになることで相手の立場や気持ちになって考えられることにつながります。その土台のごっこあそびはとっても大切です。

<仲間の中での育ちあい>

ともだちと一緒に生活したり、遊んだりする中でいろいろな関わりを学んでいきます。ケンカをすることもあります。悔しい思いも経験します。もちろん、楽しかった！おもしろかった！！と瞳を輝かせ共感しあうことも多くあります。一人や大人とだけの生活では経験できない感情の交流が保育園の生活ではあります。

あかちゃんから年長児までの縦の関係もあり、年上の子のすることに憧れたり、小さい子の世話したり、異年齢の仲間も魅力の一つです。

<絵でお話すること>

書き言葉を持たない保育園時代の絵には、気持ちや思いがたくさんつまっています。生活の感動やあそびを絵でお話をし、大人に聴いてもらうことで満足し、嬉しい気持ちになります。お話を聴くことにより、心の中が見えてきて共感関係が生まれます。

⇒絵の見方についてのパンフレットがあります

入園した年の絵画展前にお渡しします。保存版ですので毎年活用してください。



<伝統行事・文化>

地域の中で失われつつある季節の行事や伝統の行事はもちろん、こま回しや凧あげなど昔からのあそびも保育の中に取り入れ、幼い時の経験が心に残るように企画しています。

<世代間の交流>

保育園児の祖父母の方を9月の行事「おじいちゃんとおばあちゃんとあそぼう会」にご招待し、園児と交流して、楽しい1日をすごしています。

地域の園芸サークル菫会さんや福祉委員さんと園芸を通し交流をしています。地域のみなさんに見守られ、心の豊かな園児に育っています。

*新型コロナウイルス対策の為、実施を見合わせています

<絵本の読みきかせ>

絵本は心の栄養となる一つの文化です。(よい絵本は年齢を問わず、大人にも感動を与えてくれます。)

テレビやビデオ、DVDなどの映像文化の普及で絵本に親しむ機会が少なくなっています。子ども達は絵本でお話をしてもらうことが大好きです。絵本の主人公に自分を重ねて共感したり、日常生活で経験できないことも、絵本の物語の世界でハラハラ、ドキドキしながら、主人公と一緒にさまざまな人生を生きたりすることができます。その中で自然の不思議や、人間の暖かさを感じて心を耕し、太らせていきます。絵本の世界と一緒に共感し、「心」を育てていきましょう。

＜絵本の貸出＞・・・新型コロナウイルス感染症対策のため中断しています

絵本を通して親子の楽しい時間を共有し、多くの絵本に出会ってほしいと思い、絵本の貸し出しを行っています。親子で心が触れ合う時間にしてください。

毎週の絵本貸し出しを園児はとても楽しみにしています。自分で選んで借りるのは特別の楽しみになっているようです。自分だけで見るのではなく、ひざに抱き、保護者の方の愛情をプラスにしながらか心を込めて読んでください。

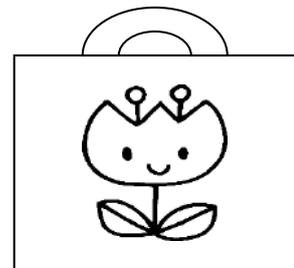
*コロナ対策のため中断しています。再開する場合は園だより等でお知らせします

絵本袋を用意してください

- 貸出日・・・毎週木曜日
- 返却日・・・翌週月曜日

- ・25センチ×35センチ程度の布製のものをお願いします。(A4サイズぐらいのもの)
- ・名前を袋の外側にわかるように書いてください。
- ・返却のチェック表は各クラスにあります。保護者をお願いします。
- ・絵本袋は忘れないように持ってきてください。

絵本は、おもちゃとしてではなく大事に扱ってください。
汚れ、落書きなどを見つけられましたら、その場で絵本を大切にすることを話して、園にも必ずお知らせください。



＜木育＞

木は昔から身近にある大切な資源です。木材や木製品に興味を持ち、木の優しい色合いや、温もりに触れることで、感性豊かな子どもに育てて欲しいと思います。

「自然に触れる体験を大切に」という保育目標のもと、様々な形で自然物を活動に取り入れるようにしています。

また、木材を利用した空間や設備は、感染症の拡大防止にも適していることが近年の研究でも実証されていることから可能な限り、木材（大阪府産）を利用しています。

生活習慣について

快食、快便、快眠の生活を送ることが豊かにあそぶ土台になります。
早寝・早起き・朝ごはんの習慣を！！



乳児期は、快・不快の感覚を育てることが大切です。赤ちゃんはオムツが濡れて気持ちが悪いことを泣いて大人に訴えます。そしてスキンシップしながら「気持ちいいね。」と大人が替えてくれることで、大好きな大人との関係ができていきます。ちょっとしたことのようにですが、この毎日の積み重ねが人との関係の土台へとつながっていきます（紙オムツを使用される場合は、このような理由から、濡れたら交換しますので、枚数がお子さんによっては多くなりますが、ご了承ください）。

◇生活リズムづくり

生活リズムは起床時間がポイントになります。早く起きる子は早く寝付けます。忙しい生活ですが、心身の成長、発達には欠かせないものです。大人の都合ではなく子どもを中心にした生活を家庭と園で連携してつくっていきましょう。

◇朝食をしっかりと

一日の活動の源になる朝食は、とっても大切です。活動中に空腹で元気がなくなったり、集中力がなくなったりという姿も見られます。おやつ的なメニューではなく、食事メニューを心がけて一日を元気に楽しく過ごしましょう。

◇朝の排便習慣

排便の習慣は、朝食後に便器に座る時間をとることで習慣化されてきます。出ても出なくても一度座るよう促しましょう。

◇靴はこまめに洗いましょう

◇爪は毎週、曜日を決めてまめに切りましょう（大きな傷につながります）



★うつぶせ寝

睡眠中に原因不明のまま死亡してしまうSIDS（乳幼児突然死症候群）について、うつぶせ寝によるリスクが指摘されております。そのため、園ではあお向け寝の寝かせるようにしています。入園までにあおむけ寝の習慣が付くよう、ご家庭でもご協力ください。

食育について

食事は、栄養をとるだけでなく、健やかなからだづくりとともに心も育てます。朝・昼・夕の食事を大切にしながら育てていきましょう。しっかり身体を動かしてお腹を空かせておいしく食べることを大事にしています。食べる意欲をそがないように小さい時には、手づかみも大事にしています。スプーン、お箸なども無理せず正しく持てるように手先のあそびも大事にしながら進めています。食事の準備、後片付けなどでも育つ場面がいっぱいあります。大人と一緒に食卓を囲み、正しいマナーも伝えていきましょう。小さいクラスから、たまねぎやとうもろこしの皮をむいたり、えんどう豆をさやから出したりなど、食材に触れる経験もしています。



◇クッキング保育

いろいろな道具を、楽しみながら使う事で手先の器用さも養います。調理途中の素材の変化は不思議心をくすぐります。食べることで締めくくり、達成感も味わっています。エプロンや三角巾の用意をお家の人に伝えている姿を見ていると、楽しい取り組みなのわかります。おやつや味噌汁などおかずづくりもしています。

◇給食

栄養士が作成する献立に基づき、保育園で調理します。

3歳未満児は1日に必要な栄養の50%を、3歳以上児は40%を給食とおやつで摂取できるように考えています。いろいろな食品に慣れるように月2回同じ献立にしています。

- だしは、昆布やかつおでとっています。
- 食材は、地元の業者から毎日仕入れています。
- 食の安全を重視し、なるべく国産のものを使用しています。
- 冷凍食品は使わず、添加物にも配慮し手づくりをしています。
- 旬のもの、伝統食、行事食も大事にしています。
- 食品そのものの味を大事にし、味覚を育てるため薄味にしています。
- しっかり噛むことを意識して献立も工夫しています。



●離乳食は4段階に区分し、個人の発育に合わせています。

●冷凍した母乳をルールにしたがって、園で飲むこともできます。

●食物アレルギーにもできる範囲で対応しています。

主治医の意見書に基づいて月に1度、アレルギー会議を施しています（園長、担任、看護師、栄養士、調理員などが参加して確認しています）。

●0歳児～2歳児は完全給食ですが、3歳児以上は副食給食（国基準）のため、主食給食費は保護者の方の負担になっています。同月中に連続して15日以上お休みされる場合は、主食費が減免されますが、事前の申込みに限ります。その場合は、事務所に申し出てください。

●月末には、次の月の「献立表」「栄養だより」を配布しています。また、献立表を見て初めて食べる食材があれば、必ず事前にお家で試してください（アレルギー症状などが出たら、園までお知らせください）。

●遠足、運動会、生活発表会、入園・進級式などの特別行事やその他の事情により給食を提供しない時は、お弁当の用意をお願いします。事前にお知らせしますのでよろしくお願いします。

●見本食を展示しておりますのでご覧ください。



家庭と園の連携について

保育園の保育は、家庭との連携なしでは語れません。園児の24時間を丸ごととらえた生活づくりは、あそびを展開していくために何よりも大切にしています。

朝7時～夕7時という長い保育時間のため、保育士は時差で勤務をしています。毎日お会いしてお伝えすることが出来ませんが、連絡帳などで連絡を取り合いたいと思っています。

お気づきの点がありましたら、その都度当番保育士などにお伝えください。

連絡帳

園児の様子を家庭と園が記入し、家庭と園をつなぐ役割をしています。
年齢によって形式は変わりますが、子育ての記録としてできる限り記入してください。
クラスによってはミニだより、クラスだよりなどでその日の様子をお知らせします。

掲示版

玄関のボードやホール入口のホワイトボードには吹田市、保育園から全保護者の方へのお知らせを貼っています。急な連絡もありますので、朝・夕必ず目を通してください。
クラスのお知らせは保育室の前や中にも掲示する場合があります。毎日ご覧ください。

*土曜日は、ペンぎんぐみ～らいおんぐみは全体の様子を合同だよりでお伝えしています。

◇ウォールポケット

園だより、保健だより、献立表、栄養だより、クラスだよりなどの園からの印刷物は、各部屋の入口にある個人個人のウォールポケットに入れます（クラスによっては連絡帳に挟むこともあります）。毎日忘れず持ち帰り、お読みください。

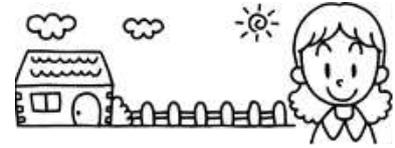
尚、ウォールポケットは園からご家庭への連絡のポケットです。個人的な使用は禁止しています。ご了承ください。

保護者会ニュース等は事前に園長が確認したものに限り、配付を許可しています。

ウォールポケットの印刷物は保護者によって持ち帰っていただきますが、夕方7時前には施錠します。やむをえず職員が園児のかばん等に入れさせていただきますのでご了承ください。

◇個人懇談について

担任から個人懇談の設定をさせていただきます。
保護者の方からも必要な時は気軽にお声がけください。



◇クラス懇談会について

年間2～3回行っています。保育を伝えるだけでなく保護者の方々の交流の場にもなっています。夜に行うことが多いので、負担もあるかと思いますが、子育ての知恵を伝え合い、保護者の方もつながり合う場にしていくために、全員の参加をお願いします。
*保育体制はとっていますが、できるだけ家庭保育のご協力をお願いします。

◇保育参観について

園児の保育園での日常を知ってもらうため、全体では春の参観学習会、夏のプール参観、秋の参観を実施しています。観るだけでなく、小さい年齢や保育内容によって保育に参加をしてもらい、一緒に経験してもらうこともあります。

保育園での日常の姿を実際に見ることで、より理解が深まります。
園児の姿に共感して、一緒に喜び合える機会になりますので、お忙しい中ではありますが、是非予定を入れておいてください。



行事について



入園・進級式をはじめ、一年の間にはいろいろな行事があります。季節感あふれる行事、日本の文化に触れる行事、目標に向かって取り組む行事などがあります。どの行事も園児には楽しみで、意味のあるものばかりです。行事当日はもちろん、取り組む過程での園児の成長を大事にしています。行事を節目に、大きな自信につながる事を期待しています。運動会、生活発表会などの行事については、ねらいや見どころをパンフレットにしていますのでご覧ください。

※毎月の園だよりで行事の日程など案内しています。

※参観日、運動会、生活発表会など保護者参加の行事もあります。



ビデオ撮影について

行事の時にビデオ・カメラ・スマートフォンなどが並ぶことで、園児が映ることを意識してしまい、普段の姿が出せなかったりします。また場所の取り合いになったり、隣の人に迷惑がかかることもあります。ビデオを撮っていると撮る事に夢中になり、園児の姿をしっかりとみることができません。記録に残したいという気持ちは充分理解できますが、機械を通しての狭い範囲の姿ではなく、1コマ1コマの瞬間を見逃さないようにしっかり肉眼でみて、記憶に残して頂くようにお願いします。

その他の行事や参観などの撮影については保育に支障をきたしますのでご遠慮ください。決められた場所以外での撮影や、ご相談の無い場合の撮影を見かけた際には声を掛けさせていただきます。

※個人情報保護の観点から、撮影には十分注意してください。

※SNS・LINEなどに、許可なくわが子以外を載せないよう注意してください。



<年間の行事> 新型コロナウイルス感染対策の為、変更になる場合がございます

進級式	4月1日(木)	在園児と職員で進級(新しいクラスになった)お祝いを行います。 保育は通常保育となります。
入園式	4月2日(金)	新入園児の親子で行います。 在園児の保育は通常保育となります。
参観・講演会	5月29日(土)	春の参観日は土曜日に設定しています。 講演会も同日に行う予定です。
一泊保育	7月9日(金)～ 7月10日(土)	らいおん組の行事です。園児と職員とで一緒に保育園に泊まります。翌土曜日の朝9時ごろお迎えをお願いします。
運動会	10月16日(土)	0歳児～5歳児まで全園児の運動面での姿を中心に観ていただきます。保護者による競技も予定しています。 午後1時頃終了予定です。
生活発表会	2月26日(土)	一年間の成長を表現あそび・歌・劇あそびなどを通して観ていただきます。 午後12時頃終了予定です。最後までご覧ください。
卒園式	3月25日(金)	らいおん組(5歳児)の保護者の方は出席してください。

プール参観	8月25日(水) 8月27日(金) 8月31日(火)	※時間帯など、詳細はクラスごとにお知らせします
保育参加	10月25日(月) ～ 12月24日(金)	左記の期間で行います。 1日1組～2組の保護者の方に午前中、保育園に来て保育に参加してもらいながら、お子さまの様子を見ていただきます。

- 年間行事予定表を年度始めにお配りします。ご参考にしてください(予定は変更になる場合があります)。
- 行事の時は玄関が混雑しますので、各自靴袋を持参して靴を管理してください。
- スリッパの必要な方はご持参ください。



保育時間について

7:00 7:30 9:00 17:00 18:30 19:00

延長 保育料 対象 (30分)	保育短時間は 延長保育料 対象 (1時間30分)	保育標準時間利用 (11時間)	保育短時間は 延長保育料 対象 (1時間30分)	延長 保育料 対象 (30分)
		----- 保育短時間利用 (8時間)		

★保育園は 19:00 までです。19:00 にはお迎えを済ませて降園してください。

保育標準時間

午前 7 時 30 分から午後 6 時 30 分まで (11 時間) で保育を必要とする時間は、就労の場合、勤務時間+通勤時間です。就労等やむを得ない理由で保育が必要な場合は、保育標準時間の前後 30 分において、延長保育を行います。(延長保育は別途利用者負担が必要になります。)

保育短時間利用

午前 9 時から午後 5 時まで (8 時間) が基本時間です。この時間帯を超える場合は、延長保育となり別途利用負担が必要となります。

尚、9 時から設定保育が始まりますので 8:50~9:00 の間に登園してください。

また降園は、延長保育料の関係から 17 時までには降園してください。

17 時の時点でお迎えに来られてない場合は延長保育利用となります。お気を付けてください。

- 朝 7:00~9:00, 夕 17:00~19:00 の延長保育料対象時間帯は保育士が変則勤務にて保育を行います。利用状況の調査により延長保育担当のパート職員との保育になります。
(通称当番保育と呼んでいます)
- 延長保育対象時間帯 (7:00~9:00、17:00~19:00) は、お買い物やきょうだいの習い事などでの利用はできませんのでご承知ください。
- 平日、お仕事がお休みの日に保育園に預ける場合は、短時間利用 (AM9 時~PM5 時) の時間帯でお願いします。
- 発熱など、連絡が必要になった場合は、職場にかけることとなりますので、お休みの日は連絡先をお知らせください。
- 保護者の就労時間や勤務場所、または保育を必要とする事由が変更となる場合、また住所の変更などありましたら、必ず園と吹田市の保育幼稚園室へお知らせください。保育認定にかかわりますのでよろしくをお願いします。

延長保育について

- 延長保育室のデジタル時計（電波式、アラーム付）を設置し、朝は7：30、夕方は18：30にアラームが鳴ります。朝はアラームが鳴り始めたときから延長保育料はかかりません。夕方はアラームが鳴り始めたときから延長保育料がかかります。
- お迎えにあたって、事故等で電車が遅れることもあるかと思いますが、どのような事情であっても延長保育料は発生しますのでご了承ください。
- 定期的に延長保育を利用される場合は申請書が必要となります（事務所までお申し出ください）。
- 延長保育を利用した時は、所定の用紙に保護者の自署によるサインとお迎えの時刻を記入していただきます（月額利用登録者はチェックのみお願いします）。
- 延長保育料は利用月の翌月にご請求いたします。

<延長保育のお部屋>

時間	延長保育		9:00～17:00	延長保育	
	7:00～8:00	8:00～9:00		17:00～18:30	18:30～19:00
保育室	全園児 1歳児室 (うさぎ組)	0歳 0歳児室 (ひよこ組)	0歳～5歳 各クラス	0歳 0歳児室 (ひよこ組)	全園児 2歳児室 (ペンギん組)
		1歳 1歳児室 (うさぎ組)		1歳 1歳児室 (うさぎ組)	
		2歳～5歳 2歳児室 5歳児室 園庭		2歳～5歳 2歳児室 3歳児室 4歳児室 5歳児室 ホール・園庭	

* 季節や行事、感染症の流行などによって保育室を変更する場合があります。

* 視診表は園児のいる所に置いてありますので忘れずに記入してください。

土曜保育について

- 利用については、就労の方又は保育を必要とする事由がある方のみとなります。
原則、申請書と就労証明書が必要となります（事務所までお申し出ください）。
- 土曜保育を利用される時は、給食の食材発注や保育体制を整える理由から、必ず木曜日までに個人ノートの土曜出欠表にてお知らせください。突発的な用事等で利用される場合は担任までお知らせください。
- 基本的には一階を中心に合同保育で生活します。荷物は面倒ですが保護者の方が一階まで運んでください。

(3・4・5歳)

布団 → 「カエルルーム」(0歳児室の前)

衣類かご・リュック→ホールの所定の場所

(0・1・2歳)

各クラスでご準備ください

*2歳のみ布団 → 「カエルルーム」へ



送迎について

- 保護者が責任をもち、安全に留意して送り迎えをおこなってください。
保護者以外の方が送迎の時は、事前に保育園に連絡してください。保安上の観点から連絡がない場合は、お渡しできませんのでご了承ください。
- お迎えに来られてからのケガや事故が毎年あります。引きとられてからは、必ず保護者の手元でみてください。
- 園には駐車場がありません。保育園前の道路への送迎のための駐車は禁止です。
(やむをえず、車で送迎をされる場合は、近隣のコインパーキング等をご利用ください)。
- 園の前の歩道は通学路になっています。通学を妨げますので、自転車は後輪が歩道にはみ出さないように駐輪場に駐輪してください。門を入ったスロープも駐輪スペースとなります。斜面に気を付けて駐輪ください。駐輪場とスロープ以外には駐輪しないでください。
- 感染症等の予防のため、0歳児室の入室は保護者の方に限らせていただいています。
(1歳児保育室も8時以降の入室は保護者の方のみでお願いします。園児につきましては基本的には入室できません。きょうだいの方は入口で待っていてください。)

●きょうだいのいる家庭は・・・

登園は、先に上の子を預けてください。下の子の視診の時、上の子を待たさずすみませう。

降園は、先に下の子からお迎えをしてください。上の子に「ただいま」「〇〇ちゃんのお迎えの用意してくるから、かたづけてね。」と遊んでいたおもちゃを片付けさせ、声を掛けて気持ちの切り替えなどにご協力ください。ご家庭により不都合な場合は、ご相談ください。

登降園について

- 9時までには登園してください（給食数を確定するため）。
 - 欠席、遅刻の連絡は9時までをお願いします（食数の確認を行います）。
 - 登園時間は門を入った時間、降園時間は門を出る時間です。
 - 朝夕の準備は園児に任せず、保護者の方が必ず見守りをするようにお願いします。
 - お迎えが予定時間と変更のある時、また「主な送迎者」と異なる場合は、必ず連絡してください。
 - 緊急の連絡先が日常と変わる時はその都度お知らせください。
 - 登園、降園の際は職員に声をかけてください。
- 「おはよう」「ってきます」「ただいま」「さようなら」などの挨拶を気持ちよく交わしましょう。
- 体調に関することは直接職員までお伝えください。



視診について

- 0歳児（ひよこ組）、1歳児（うさぎ組）は保育士による視診があります。
（その日の子どもの体調やお迎え時間の確認をします）
園の体温計で検温をしてください。
視診、荷物の用意で5～10分ぐらいかかることを予定しておいてください。
0歳児、1歳児は登降園表の記入も忘れずお願いします。

- 2歳児以上は視診表の記入をお願いします。
健康状態を確認して登園してください。



中門の鍵は園児は触らないルールにしています。園児が一人で外に出してしまうと大変危険です。通用門のかんぬぎ、中門の開け閉めは必ず保護者の手でお願いしています。開け閉めの際には周りの園児にも目を配ってください。みんなで園児の安全を守りましょう。

暴風警報または大雨特別警報発令時の登降園について

1. 午前6時30分現在「北大阪地域」に「暴風警報」または「大雨特別警報」が発令されている時は、「暴風警報」「大雨特別警報」が解除されるまで臨時休園とします。
2. 正午までに「暴風警報」または「大雨特別警報」が解除されないときは、1日臨時休園になります。
3. 正午までに「暴風警報」または「大雨特別警報」が解除されたときは、保育を開始します。
4. 台風襲来時にかかわらず、「暴風警報」または「大雨特別警報」が発令された場合は、上記の取り扱いとさせていただきますので、ご了承ください。

- 「暴風警報」または「大雨特別警報」解除後、保育を開始する旨の連絡はいたしませんので、適宜登園してください。
- 「暴風警報」または「大雨特別警報」解除後、通常保育に戻るまで、およそ1時間程度かかります。
- 給食は、予定献立が提供できない場合があります。
- 午前11時以降に警報が解除された場合は、給食提供はありません。
- 登園後に「暴風警報」または「大雨特別警報」が発令されたときは、速やかにお迎えをお願いいたします。

★ 警報や災害などの緊急連絡は「よい子ネット」にて配信します。必ずご登録ください。

災害時の避難場所について

火災や地震など災害が起こった場合の避難場所を下記の通りとします。

●地震（震度5以上）が発生した場合

1. 登園前に発生した場合、臨時休園といたします。ただし、施設の安全面、職員体制に支障がないなど園で安全に保育ができるように復旧できたと判断した場合はこの限りではありません。
2. 保育中に発生した場合、園児を安全な場所に避難誘導します。保育園までの経路の安全を確認し、速やかにお迎えに来てください。園児の状況は、随時「よい子ネット」よりメール配信にてお知らせいたします。事前にご登録をお願いします。
3. 第一避難場所、もしくは第二避難場所への誘導中は、原則として、お子様の引き渡しはできません。目的地に到着し人数確認後に引き渡し致します。避難活動にご協力をお願いいたします。また、緊急連絡カードに書かれている方にのみ、引き渡しとなりますのでご了承ください。

• 第一避難場所：西山田小学校

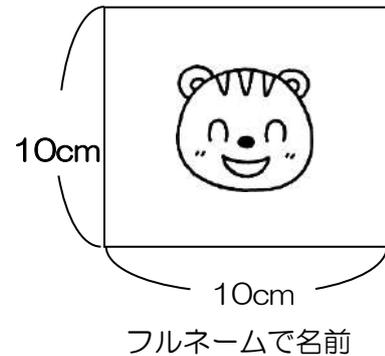
• 第二避難場所：西山田中学校

寝具について

- 午睡用布団は「園のレンタル布団」か、お家から「お持ちいただく布団」をお選びいただきます。
- シーツ、タオルケットなどは個人でご準備してください。
 掛け布団シーツ・・・90センチ×128センチ
 敷き布団シーツ・・・78センチ×140センチ

シーツの購入は園でも斡旋しています。
 1枚600円で、上下セットで1,200円です（2021年4月現在）
 ＊購入されたシーツには大きく名前を書いてください

- 個人マークをつけて管理しています。
 - ・個人のマークを布団につけるのにカバーのある針が出にくい安全ピンを使ってください。
 - ・個人のものとなる絵などをつけるだけでなく、フルネームで名前を忘れずに書いてください。
 - ・マークは2枚（掛け布団と敷き布団）用意してください。



シーツ交換・布団干しについて

シーツ交換・布団交換は保護者の方でお願いします

●シーツ交換

毎週金曜日、もしくは月曜（朝）・・・全クラス交換してください。
 ＊土曜保育を利用される場合は、土曜日の交換も可能です。



- 布団干し・・・各クラス決められた日に、所定の場所に保護者の方が干してください。

0歳児（ひよこ組）	水曜日	2回睡眠児は職員が干します／1回睡眠児は水曜日に乳児室前園庭へ
1歳児（うさぎ組）	木曜日	2回睡眠児は職員が干します／1回睡眠児は木曜日に乳児室前園庭へ
2歳児（ペンギん組）	火曜日	プール横のテラス
3歳児（さる組）	火曜日	2階のテラス・
4歳児（くま組）	水曜日	2階のテラス・フェンスへ
5歳児（らいおん組）	木曜日	2階テラス・フェンスへ

その他・お願い

- 園舎使用をされる場合は「園舎使用許可証」が必要です。
1週間前に申請書を提出し、園舎の鍵を前日に受け取り、翌日には手渡して返却してください。
原則、飲食は禁止となります（感染症対策、アレルギー児への配慮の為）。
- うさぎ組前の階段は使用しないでください。
給食や荷物を運ぶ専用階段ですので、子どもたちは使用しないというルールにしています。ご不便をおかけいたしますが、ご協力お願いいたします。
- 園児から目を離さないよう安全を確保の上、ご利用ください
- 持ち物には全て、大きくわかりやすく名前を記入してください（薄くなったら書き直しを）。
- 靴と帽子は毎週末に持ち帰って洗ってください。
- 保育園には家からの私物（おもちゃ等）は、トラブルになりますので持ってこないでください。
特にお菓子などの食品は食物アレルギーの心配から持ち込まないようにしてください
（時々リュックの点検をお願いします）。
- 土曜日については保育終了時間で閉門になります。
19：00まで開いているとは限りませんのでご了承ください。



施設略図

西山田保育園

